

2学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

2 学年通信 79 号 通算 143 号

2016. 11. 18 (金) 発行

期末考査前の休日について

文責 横山

来週の木曜日から 2 学期期末考査が行われます。日々学んでいる内容を、ある一定期間で「まとめて整理し復習すること」は大変大きな効果があります。また、そのような行為自体が「楽しい学び！」だと私は思います。散らかり放題の机をピカピカ！に片付ける、適当に平積みまくったマンガ本を本棚に 1 巻から最終巻までビシッ！と整頓する。いずれも年 1 回やるかやらないかの作業ですが、やると結構燃えます。それと似たようなことが、定期考査や大学受験に向けた学びにあったような、そんな気がしたのです。計画通り進めることができ、かつ、ある一定範囲をモノにした満足感がそこに生まれます。逆にできなかったときは結果に関わらず、自分に対する不満感しか感じない。それは学びに限らないのしょうけれど。もし、入学以来このような幸福感を感じたことが無いという人がいたら可哀そうなので、今日の今からでもやってみるといい。学ぶことは幸せになることです。しあわせになろうよ！

さて、今回は考査前や間に「5 日間の休日」があることをご存じか？ この 5 日間学校をどうするかは結構考えたし多くの人に相談もしたのです。正直、米興の先生方は日々忙しいし、ここが部活動の無い貴重な休日であるからです。しかし、1~3 年生学年団の先生方を中心として「学校開けようぜ！」という結論に至ったのです（昨年、私はこの期間に南北アメリカ縦断旅行でした。あれから早や 1 年です）。5 日間を午前・午後と分けて表を作ったのですが、あっという間に埋まりました。私は、今さらながら、同僚の仲間のことながら、手前味噌でありながら言いますが、「米興の教師集団は凄い！」と思いが震えました。愛あるんですね愛が。愛されているアナタ達は「実は私はしあわせなのだ」ということを実感・自覚・感謝すべきだと思う。当然だと思ふ人はいないと思うけれど、どんなことにも感謝の気持ちを持つことは「しあわせになれる理由」だとも思うのです。

さて、このような経緯で休日開放しますがタダではできないのです。1 つは光熱費です。寒いのでポイラーを焚いて頂くことになりましたが、多量の灯油が必要で「ビックリする位のコストがかかる！」のです。学校で勉強するんだからイイじゃない、というものではありません。米興も県の施設ですからその燃料代も元をただせば県民の皆様方の税金です。そこで暖房は「大多のみ」とすることにしました。また教室の照明代もお金がかかるので学習は「大多のみ」とします。これで僅かではありますが、本来使う必要の無いお金や貴重な資源を節約することに努めます。では、整理してみよう！（整理大好き？）

- ① 11 月 19 日、20 日、23 日、26 日、27 日の 5 日間、8:30~16:30 学習のため米興開放
- ② 登校時、正門前で米興校舎中央の「校章に一礼」し、今日は頑張ると誓う。
- ③ 校舎に入ったら、2 学年フロアにある「学年名票」に登校時間を記入する。
- ④ 学習用具を持って大多に移動する。休み時間・昼食時間は平日の日課に準ずる。
- ⑤ 15 時清掃。大多や廊下の清掃、トイレトーパー補充等、自分で仕事を見つけてやる。
- ⑥ 帰るとき、学年名票に下校時間を記入する。
- ⑦ 下校時、正門前で校舎を振り向き「校章に一礼」し、明日も頑張ると誓う。
- ⑧ 学校で学習したことに満足し、家でゲームやスマホに興じる、何てのはもってのほか！

これは話しておきたいのですが「ウチの子、まだ帰っていないのですが学校にいますか？」というお電話を、休日の夕方や平日の夜に結構な頻度で頂くのです。内心「こんな時間にいないでしょうね」と思うのだけれど、教室で倒れていたとか、トイレの鍵が壊れて閉じ込められているという可能性も否定できないので、ちょっとお待ち頂いて校舎中を先生方皆で探すのです。結果は「帰ってきました」とか「連絡ありました」というオチでホッとしますが、やはり内心穏やかでは無いのです。そんなことが月に複数回はあるのです。ですから、まず生徒諸君は家族への連絡はしっかりしておいて欲しいのです。アナタが思う以上に、ご家族の方は心配されているのです。また、休日登校した際に「時間を記入する」意味はそこにあります。休日は、学校を開けて下さる先生が 1 人で職員室にいることも多く、そういった問い合わせに対する対応が非常に困難なのです。わかりますね。ですから、アナタの所在を明確にするための記入なのです。来たから偉いとかポイントが付くとかではありませんので、登校者の義務と心得て下さい。うわ〜！ここで止めると紙面が半端なので続けます。

休日ですから「質問したい教科の先生が職員室にいる」ということはほぼありません。基本自学なのは当然です。しかし、奇跡的においでの場合には（たとえば 19 日の午前はいつみ先生がおられますし、午後は伊藤謙汰先生がおられる予定です）「お仕事中に失礼します。2 年〇組の〇〇です。〇〇先生に質問させて頂いて宜しいでしょうか？」と最上級の謙譲語を駆使しお願いしてみることは可能です。基本、ご自分のお仕事のために来られていますから、質問できて当たり前！なんて態度（無いでしょうけれど）はいけません。是全感謝。また 2 学年の先生方がおられない方が多いので、どんな先生にも挨拶は勿論、困ったことなどあれば遠慮せずに相談して下さい。また、当然ですがどんな先生にも是全感謝ですよ。

ここまで休日登校について書きましたが、正直「家で学習すること（できること）」がベストであるの言うまでもありません。昨日、理系の K ちゃんと休日の学びについて廊下で立ち話をしたのですが

Y 「休日はどこで勉強するの？」	K 「川西のフレンドリーです」
Y 「何時から使えるの？」	K 「朝 9 時半から夜 8 時まで開いています」
Y 「学校に来ないの？」	K 「家からの移動時間がもったいなくて」
Y 「お昼はどうするの？」	K 「フレンドリーでお弁当食べます」
Y 「米興生は他にもいるの？」	K 「T ちゃんもよく来ます」
Y 「T ちゃん、本好きだからな」	ps T ちゃんとは、あの T ちゃんです？

そうなんです。何でも本気でやると「時間が足りなくなる」のです。ですから K ちゃんは、家から電車に乗って歩いて学校に来る時間、その逆の帰るための時間が「もったいない」のです。本当は家でできれば最良です。起きてから寝るまでスキ無くできますから。ですから今「家で充実した学びができる人」はその習慣を大切にして下さい。高校生活は卒業までそのままいいのです。最高の学びです。しかし、K ちゃんのように、近所に図書館があればそれを活用するのもイイと思うのです。合い間に本を読むとか、同じ場で勉強している米興生や他の高校生、大人の頑張りを自信の励みにできるかもしれません。ちなみに M ちゃんは「ナセ B A」だそうです。最近、米興生密度が大変高くなっていますね。米沢市は本当に素敵な場所を作ってくれたなと思います。米沢の未来は明るい！ものにするためにも、特に米沢市民諸君は感謝の気持ちで頑張らないとアカンのです。そういえば、文系の I 君は「えくぼプラザ派」でしたね。このように公共の施設で学ぶのもいいのです。要は、休日学校開放は「学校に来れば良い」や「学校に来い」という意味では無いこと。さらに畏れるのは「学校に来たことで自己満足する」という有りがちなメンタリティに陥るなということ。諸君にとっての学びは「やったふり」や「家族の目をごまかす手段」などではもう無いはず。夢実現に向けて「どこまで自分を高めることができるか」という自己との真剣勝負を始めているはず。一番伸びる道は自分が最もよく知っている。まさに伸一だ？ **終**

この学年通信は（2 学年関係者以外では）数名の先生方にだけお渡ししています。前号に寄稿頂いた山口優先生はそのお 1 人です。お渡しするようになるずっと前から、優先生は米興HPをこっそりと？見ていて「横山先生〇〇の記事はいいですね」とか「サッカー部を褒めて頂いてありがとうございます」などと嬉しいコメントを囁いてくれていたのです。前号に書いたように、読むにも時間がかかります。その彼は、自分の貴重な時間を「学年通信に使って頂いていること」に感動したのです。それ以降、工夫を凝らしてお届けするようにしています。「読んだら 100 日寿命縮まるぜ」と脅かすとかね（恐怖新聞か？）。私自身、最も嫌なことは「自分の時間を奪われること」なので、他のことは適当ですが、他者の時間については細心の注意を払っているつもりです。また、進藤先生もHP愛読者なのでお渡しするようになりまし、司書の平田先生や進路の宮下先生は、「学年通信素敵です！」と話しかけて頂けるので、その笑顔を見たいがため？にお渡ししています。喜んで頂ける方が 1 人でもおられれば、この通信の意味があると思っています。そんなことを確信したのは昨夜のTVです。AAAというグループが、路上ライブから数年を経て武道館コンサートまで至ったことを放送していました。このグループは 2 組のSTさんが「AAA 凄いです。虹とか神曲です〜！」と絶叫していたので覚えていたのです。ありがとう？ そのTVのインタビューでグループの 1 人がこう話されていました。

『路上の 1 人でも武道館の 5 万人であっても、聴いてくれる人がいれば私達は歌うのです』と。一聞、誰でも言いそうなフレーズですが、その話す表情に「本当の本気」を感じたのです。きっと彼らは、この言葉通りの活動をずっと続けて今日までできたのでしょう。ですから、彼らが歌う曲も素敵なはずだと思ったのです（虹イイですねエ）。「1 人のために」、これは「人生の解のひとつ」かもしれない！今、私は凄い発見をしたかもしれません。音楽は 1 人でも感動してくれればいいし、学年通信は 1 人でも読んでくれる人がいれば存在する意味がある。すれば人類が何千年と悩んできた愛と実在の命題は、

「私のことを 1 人でも愛してくれる人がいれば、私が存在する意味がある」

愛については、物心ついてからずっと積年の課題であったのだけれど、50 歳にして、ついに 1 つの結論に至ることができたのかもしれない。せっかくなので数学的用語と記号を使って検証しよう。

＜命題の逆・裏・対偶＞	
命題	「少なくとも 1 人は私を愛してくれる ⇒ 私が存在する意味がある」
逆の命題	「私が存在する意味がある ⇒ 少なくとも 1 人は私を愛してくれる」
裏の命題	「誰も私を愛してくれない ⇒ 私が存在する意味は無い」
対偶	「私が存在する意味がない ⇒ 誰も私を愛してくれない」

逆の命題や対偶はイマイチよくわからないですね。裏の命題は、昭和にあった演歌か劇画のようで涙がこぼれそうになりますね。命題と対偶の真偽は一致します。逆と裏も対偶の関係なので真偽は一致します。さて、アナタはこの命題の真偽をどのように考えますか。私達の人生の課題としましょうね？

結びに。話題は変わりますが 11 月 16 日（水）「米興部活動OBOG 連合会総会」が行われました。この会は数えること実に 33 回目だそうです。その席上「弓道部女子が県新人大会で県準優勝となりました。3 月の東日本大会に出場できるのですが、お金が足りませんのでご支援ご協力お願いしま〜す♡」と後藤美穂先生が呼びかけたところ、実に 8 万円以上の激励金が集まりました。この場をお借りして、感謝申し上げます。ありがとうございました。弓道部諸君はこの善意に応えるよう、今まで以上に頑張らなければなりません。これはホンの一例であり、どの部活動もOBOGの皆様から物心両面の支援を頂いていることを忘れてはいけません。そして、数年後はアナタ方が尽くす人達になることもです。☑

紙ベースの通信では

F a i r W i n d 「東京大学生と語る会」の

要項を掲載しています。